

## 第12回中国百科検定・特級「歴史」問題

第1問 古代の中国文明は、華北の黄河文明だけでなく長江文明も注目される。大量の稲粃や農耕具などとともに水田址も出土した長江文明を代表する浙江省寧波市の遺跡は何か。

第2問 ろくろで作られた薄手の黒色土器「黒陶」で有名なこの新石器文化は、その遺跡が発見された山東省の地名でよばれている。この文化は何か。

第3問 殷の最後の王である紂王<sup>ちゆうおう</sup>は酒色にふけり、服属していた邑<sup>ゆう</sup>の離反がおこった。その結果、殷の支配領域西端の渭水流域から新たな勢力が台頭した。紂王を倒し西周を樹立した王は誰か。

第4問 西周期、社会の基本的な構成単位は血縁関係を中心とした氏族集団であった。氏族は本家と分家に分かれながら、ひとつのまとまりを保っていたが、その規範を何と言うか。

第5問 戦国時代は、春秋時代のある国が紀元前453年に、韓・魏・趙に三分割されたことをもって始まるという考え方が有力である。ある国とは何か。

第6問 始皇帝が没すると、陳勝・呉広の乱など各地で反乱が発生し、秦は15年で滅亡した。動乱の中から現れ漢王朝(前漢)を建国した農民出身の人物は誰か。

第7問 前漢の景帝が諸侯王の抑圧をはかると、紀元前154年、諸侯王は一斉に反乱を起こした。この反乱は間もなく鎮圧されて彼らの勢力は弱体化したが、この反乱は何とよばれるか。

第8問 のちの道教の源流となった張角率いる太平道の宗教結社は、困窮した農民を集めて武装化し、後漢末の184年に華北で大規模な反乱をおこした。この反乱を何というか。

第9問 日本列島の初期国家の多くは、中国の皇帝に臣下の礼をとって冊封を受け、自らの支配権を承認してもらうことで権威を高めた。邪馬台国の卑弥呼が朝貢したのはどの国か。

第10問 唐の第二代皇帝は、隋末の混乱以来残存していた地方勢力を次々と破って統一を完成させ、安定した社会を実現した。彼の治世は、大きな対外戦争を控え、部下の諫言<sup>かんげん</sup>にも耳を傾け、人民の生活を重視したとして、後に貞観<sup>じょうがん</sup>の治<sup>ち</sup>として称えられた。この皇帝は誰か。

第11問 唐は隋の制度を受け継ぎ、戸口調査によって農民を個别人身的に把握し、個々人に課税する制度をとった。このような唐代初期の税制度を何というか。

第12問 唐の玄宗末期、皇帝の寵姫・楊貴妃の一族が実権を握るようになった。国境の守備をゆだねられていた有力な節度使はこれに反発して反乱をおこした。この反乱を何というか。

第13問 中国史上、唯一の女帝であった則天武后(武則天)は、高宗とともに巨費を投じて龍門石窟最大規模の奉先寺洞を作ったが、「自分の功過は後人が評価すべき」と墓碑に文字を刻ませなかった。則天武后はどの時代の人物か。

第14問 北宋の都であった開封は、華北と江南を結ぶ大運河と黄河が交わる交通の要衝であった。そのため大量の物資を満載した舟が行きかう商業と消費の大都市として繁栄した。開封に散在していた瓦子とは何か。

第15問 宋代、注釈を重んじる従来の儒学に反発し、君臣上下の秩序を重視した儒学が興った。その後、これが儒学の正統となり、日本や朝鮮・ベトナムにも伝えられて官学となった。この学派は何か。

第16問 中国では、20世紀初めまで科挙という官吏任用試験を経て、儒学の教養を身につけた知識人が高級官僚に採用された。宋代には、科挙で皇帝が自らおこなう最終試験が設けられたが、それを何というか。

第17問 女真は、中国東北地方で半農・半獵・半牧の生活を送っていた民族である。この民族を統一し、1115年に金王朝を建国した人物は誰か。

第18問 モンゴル帝国(元)は、交通路やジャムチ(站赤、駅伝制)の整備、国際商人の保護など内陸部・海上ともに通商振興策を積極的に推進した。その時代には様々な宗教やルーツを持つ商人が活躍した。その最も代表的な国際商人は何商人か。

第19問 元軍のアジア各地への遠征に対し、各地域では強い抵抗がおこった。朝鮮半島や鎌倉幕府の日本だけでなく、ベトナム北部の大越国やジャワでも激しい抵抗が展開された。この時のベトナムの王朝は何か。

第20問 明代初期、明は民間の海上貿易を禁止し、政府が管理する朝貢貿易を推進した。日本とは勘合貿易をおこなったが、それは日本のどの時代か。

第21問 明は海上・内陸ともに対外的に厳格な管理体制をしいたが、16世紀中頃になると、周辺での私貿易や海賊行為が脅威となった。これを北虜南倭という。北虜とは何をさすか。

第22問 明代文化の特徴の一つは科学技術への高い関心にあったので、実用的な学問(実学)が発達した。農業に関する総合書である『農政全書』を著した官僚は、キリスト教に入信した最初の中国高官としても知られているが、それは誰か。

第 23 問 ヌルハチ(清の太祖)は、八旗と言われる軍事・行政組織を作り、独自の文字を制定して、国家建設を進めた。清朝が最初においた都は、現在のどの都市か。

第 24 問 中国で最初に発明された印刷術、羅針盤、火薬などの科学技術は、その後ヨーロッパに伝えられた。中国で羅針盤や火薬の実用化が始まったのはいつの時代か。

第 25 問 長江下流域(江南)が穀倉地帯としてほぼ開発しつくされ、米の主要な生産地が湖広(湖北・湖南)や江西へ移り、「湖広熟すれば天下足る」と言われるようになった。その時代はいつか。

第 26 問 チベット自治区・新疆ウイグル自治区・内モンゴル自治区・青海省を包括した現代中国の領域の原型が形作られたのはいつの時代か。

第 27 問 洪秀全は宗教結社の上帝会を組織し、1851年、現在の広西チワン族自治区で挙兵して太平天国の樹立を宣言した。太平天国の首都に定められた都市はどこか。

第 28 問 第 2 次アヘン戦争(アロー戦争)や太平天国の乱の後、清朝は秩序の再建と富国強兵をめざし、西洋の軍事や技術の導入を始めた。こうした取り組みを何というか。

第 29 問 義和団事件後、清朝は多数の官僚や留学生を海外に派遣して、近代科学や政治・経済・文化などを学ばせた。李大釗や魯迅が留学したのはどこの国か。

第 30 問 1911年10月、武昌で中国同盟会などの革命派が軍隊を動かして蜂起し、辛亥革命がおこった。新たに生まれた中華民国の臨時大総統に就任した革命派の指導者は誰か。

第 31 問 日本が戦争の混乱に乗じて袁世凱政権に提出し、受け入れさせた 21 カ条要求は、山東半島などの日本の権益拡大をはかるものだった。これが出されたのはある戦争中であつたが、その戦争は何か。

第 32 問 2021年に創立百年を迎えた中国共産党の結党は、第一次世界大戦後の国際情勢と強く関連していた。中国共産党創立を支援した国際的な組織は何か。

第 33 問 日本の中国侵略の動きが強まるなか、中国共産党は中国国民党に対して、救亡と一致抗日をよびかける「ハ一宣言」を発した。この宣言が出されたのは何年か。

第 34 問 1949年、中国共産党はじめ諸党派が人民政治協商会議を開いたうえで、中華人民共和国が建国された。毛沢東が天安門の楼上で建国宣言をしたのは何月何日か。

第 35 問 朝鮮戦争が勃発し、国連軍が北上して中国国境に迫ると、建国後間もない中華人民共和国は義勇軍を派遣した。その後戦線は膠着し休戦協定が成立したが、それは何年か。

第 36 問 1956 年から翌年にかけて展開された「百花齊放・百家争鳴」に先立ち、1954 年にある著名な文芸理論家が「三十万言意見書」を書いて中国共産党の文芸政策に異議申し立てをした。翌年の 1955 年に反革命罪で批判・投獄されたこの人物は誰か。

第 37 問 文化大革命は、1966 年に毛沢東が発動した政治運動であるが、60 年代の国際情勢や国内状況と深く関係していた。文革派によって「中国のフルシチョフ」と攻撃され、失脚した国家主席は誰か。

第 38 問 1972 年 9 月、田中角栄首相が訪中して、「日中共同声明」が調印された。日中国交正常化を実現した時の中国の首相（国務院総理）は誰だったか。

第 39 問 1980年代、改革開放政策の採用によって中国経済は高度成長をとげるようになったが、官僚の腐敗や貧富の格差も表面化し始めた。1989年の第2次天安門事件に至る民主化運動は、誰の死をきっかけに燃え上がるようになったか。

第 40 問 文化大革命末期の 1975 年、当時の首相は全国人民代表大会で4つの近代化を打ちだして、経済再建措置をとろうとした。4つの近代化とは、農業・工業・国防と何の分野を指しているか。